東京栴檀会 役員・学年幹事合同会議 議事録(H23年11月6日作成)

開催日時:平成23年11月5日(土) 執行部役員会 10:30~12:00

役員・学年幹事合同会議13:00~16:30

場所:品川区平塚3-9-1 (仮)荏原第三地域センター

出席者:井戸川妙(高3) 渡部尚武(高6) 松倉収・渡辺文夫(高7) 木幡精一(高8) 佐藤三千雄・石橋勲(高9) 佐藤和征(高10) 鈴木秀夫・木幡實・佐藤宏秀・松本孝之・鈴木昌子(高12) 冨澤誠・井上博明・佐藤重男(高13) 市川宏・大元泰弘・谷本多美子(高14) 木幡忠憲(高15) 中澤嘉樹・大井和彦(高18) 佐藤武光・久保田則男(高19) 渡部信綱(高20) 鈴木孝光(高21) 加藤淳子(高26) 志賀泉(高31) 藁谷至(高44)

書記:大井(高18回) 計29名

開会の辞:佐藤三千雄副会長 母校の困難を思い、子どもたちのためにできることをしよう。週末にもかかわらず会議に参加下さり感謝します。新年総会に向けて活発な議論を期待します。

会長挨拶:鈴木秀夫会長

- ・本部委託の件で、東京栴檀会は運営の上で本部と齟齬のないように注意する。
- ・東京栴檀会主催の品川区と富岡町をつなぐ心の絆チャリティーイベントに組織の力を思う。
- ・双高の修学旅行は中止になったが、在校生が気分転換でディズニーランドに来る喜び。
- ・全同窓生一丸となって、学校運営に協力し、双高の存続を。
- ・同窓会は今後どうあるべきか。組織の中に組織を持ち込ませず、次の世代へ。

前回議事録(8/28)について

議題に入る前に、中澤会計幹事と同窓会新聞佐藤編集長より報告あり。

- ・中澤会計幹事:11月1日までの収支報告と双高募金状況。双高基金(47名)100万円はPTAを通じ母校に贈呈。双高震災募金(392名)は、4,514,928円(手数料50,560円)です。品川区と富岡町をつなぐ心の絆チャリテーイベントの募金・カンパは、278,275円で、PTAを通じて双高に贈呈。
- ・佐藤編集長:本部の委託を受け、全国の同窓会会員に発送することを踏まえて編集をする。4面の予定が6面になる。1面~2面、小山同窓会会長及び山﨑学校長談話を掲載。3面、双高出身3首長(広野町、富岡町、葛尾村)アンケートの掲載。浪江町請戸、鈴木酒店専務・鈴木大介さん(高43)の記事。4面~5面、映画監督・佐藤武光さん(高19)のルポ・原発立ち入り禁止20キロ圏内を歩く。6面、各学年同窓会報告となります。

議題:

1、新年総会に向けて

本部委託を受けての会報発送方法について:東京栴檀会は例年ヤマト便を使っているが、全国には転送を考慮し「ゆうメール」を使う。

新年総会通知資料の確認(発送サラト) 資料作成者及び会務の流れ:新年総会のお知らせ、会場地図、年会費のお願い、11月1日現在までの収支報告書、23年役員・学年幹事名簿、活動報告書、同窓会新聞、返信八ガキ、振込取扱票。

総会資料印刷原稿の確認:会次第、23年収支報告書、24年役員・学年幹事名簿、校歌・第一 応援歌、出席者名簿

役割分担に基づき各係の準備・要点;7周年学年の会には、色分けでリボンをつける。会場の案内誘導が、昨年はうまく機能しなかったので注意。

新年総会留意事項;初めての参加者には声をかけて孤立させない。被災者の参加は、5,000 円とする。

その他;会費、男7,000円、女6,000円ではぎりぎりである。8,000円、7,000円とするか、男女同額とするかは今後の課題。

- 2、平成25年から懸案であった「総会・新年会」を5月開催の「総会・懇親会」にする。
 - 2 4年の新年総会通知資料に明記し、周知徹底する必要あり。
- 3、5月開催に伴う規約改正:東京栴檀会12条(2)新年実行委員会(総会、新年会・・・)を「懇親会実行委員会(総会、懇親会・・・)」に変更。15条(2)会計年度を「4月1日に始まり3月31日に終わる」に変更。
- 4、次年度執行部役員(案)は、故郷の大震災及び原発事故を考慮した前回合同会議の意向を受け、現行体制でもう一期2年で乗り切り引き継ぐ。
- 5、福島県人会への団体加入をする:県内各校同窓会活動の情報交換会。年会費15,000円。
- 6、モットー「先輩に思い出を、後輩に夢を」に代わる東京栴檀会独自のモットーを募集する。

議事終了後、鈴木孝光副幹事長の司会により懇親会に入る。乾杯の発声は、高7回の松倉収先輩。しばしの 歓談のち、佐藤和征副会長の閉会の辞により終了。会務の苦労もあるが、懇親会もまた同窓会の楽しみ。